

令和 年度 技術士第二次試験答案用紙

24 字×25 字

令和 年度 技術士第二次試験答案用紙

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

近年、気象災害の激甚化や巨大地震の切迫化が懸念
 されている③。土地勘のない観光客が過度に集中する
 中で発生④した場合、大量の災害時救援者が生じてし
 まう可能性がある⑤。そのため、観光と防災の機能を
 複合的に有する施設整備等、バランスがとれたまちづ
 くりが重要である⑥。よって、都市防災の観点から、
 観光危機管理対策の推進が課題⑦である。

- ③ 懸念事項とするより、現状として述べた方が良いでしょう。→「・・・巨大地震が切迫している」
- ④ →「災害が発生」
- ⑤ 救援者の発生というより、単純に被害で良いのではないのでしょうか。また、文末が冗長的であり、これこそが懸念事項ではありませんか。→「・・・多大な被害が危惧される」
- ⑥ まちづくりの例が施設整備というのは腑に落ちません（まちづくりは面、施設整備は点）。また、「観光と防災の機能を複合的に有する施設整備」や「バランスがとれたまちづくり」が何なのかよく分かりません。都市及び地方計画の視点で観光地における防災対策を示唆する必要があります。例えば、観光施設の適正立地（ハザードエリアからの移転や立地抑制）、一時避難地や帰宅困難者の受け入れ施設の適正配置などが考えられます。
- ⑦ ⑥を踏まえると、観光危機管理対策（観光客への情報発信、避難誘導・安全確保、帰宅困難者対策）というより、観光地における防災まちづくりが課題といった具合にした方がより都市及び地方計画的な表現になると思います。

2. 最も重要な課題と解決策

地域の安全、健康及び福利に直結するため⑧「いかに多極連携型の都市を構築するか」を最重要課題に設定し、以下に解決策を述べる。

令和 年度 技術士第二次試験答案用紙

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

- ⑧ 防災を入れたことにより、この理由は双方の課題に当てはまってしまいます。ここは、理由を複合的なものに組み替え、多極連携型の都市にしか当てはまらないようにしましょう。例えば、「地域の安全、観光の質の向上、持続可能性と多面的な効果を発揮するため」といった具合にたくさん並べて限定しちゃいましょう。

(1) 立地誘導

適正な土地利用の推進により、観光客の集中を抑制する⑨。具体的に、立地適正化計画を策定し、都市機能誘導区域を設定することで、都市機能や観光施設を誘導する。加えて、宿泊施設の過剰供給を抑制するため、都市計画法に基づく地区計画により1部屋あたりの最低面積を設定し、狭小な宿泊施設の立地を制限する。併せて、駐車場配置適正化区域を設定し、自動車交通の少ない場所に集約駐車施設を設置することで、中心市街地への自動車の流入を抑制する。

- ⑨ 見出しは、立地誘導です。適正な土地利用と立地誘導は異なるものですよ。見出しが正ならば、「観光施設の立地を誘導することにより」となるのではないのでしょうか。また、細かい話ですが、ここはやることを書くところなので、目的→やることの順で書いた方が、解決策が明確化すると思います。→「観光客の集中を抑制するため、観光施設等の立地を誘導する」

(2) ウォーカブルな拠点形成

街路空間を再構築することで歩行空間を快適にし、移動手段として徒歩や公共交通を選択しやすい環境を整備する⑩。具体的に、立地適正化計画を策定した上で、滞在快適性等向上区域を設定する。街路空間の

令和 年度 技術士第二次試験答案用紙

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

広場化と併せて、沿道店舗のオープンスペースの提供
や建築物のピロティ化等のオープン化により賑わいを
創出する。また、中距離移動手段としては、L R Tを
導入し、電停のバリアフリー化を行う^⑪。^⑫公共交
通と連携した移動しやすい環境を整備^⑬することで、
特定の観光地への過度な観光客の集中を抑制する。

⑩ 解決策しかないので、目的があると良いですね。快適な滞在空間の形成、歩きたくなるなる空間形
成、地域活性の促進などがウォーカブルの目的ですかね。

⑪ →「中距離移動手段としてL R Tを導入し、電停においてはバリアフリー化を徹底する」

⑫ 「このように」を追記。

⑬ この表現ですと都市環境の観点に見えますので、「拠点を形成」としてはいかがでしょうか。

(3) ネットワーク^⑭
立地適正化計画と連動して地域公共交通計画を策定
し、各拠点を結ぶように公共交通網を再構築する^⑮。
^⑯住民に対しては、公共交通マップの作成・配布や通
勤・通学時の利用啓発等、M Mを通じて利便性を認識
させることで公共交通へのモーダルシフトを促す。ま
た、旅行者に対しては、観光型M a a Sを導入する。
A Iレコメンド機能を活用し、ユーザーの行動履歴等
から最適な観光地の提案や、交通サービスとセットと
なったデジタルパスの購入を可能とすることで、観光
周遊を促す。さらに、リアルタイムで混雑状況を表示
することで、ユーザーが時間や場所を選択しながら効
率良く移動できるようにする。

●答案用紙の解答欄の枠内に記載した解答のみ採点対象とします。

24 字×25 字

令和 年度 技術士第二次試験答案用紙

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

- ⑭ 内容からするにネットワークだけでなく、このネットワークを利用した交通需要マネジメントが主な提案になっています。よって、見出しを「ネットワークとTDM」としてはどうでしょうか。
- ⑮ これも目的がほしいところです。目的は観光地における交通渋滞の発生抑制とかですかね。
- ⑯ 「この公共交通網を効果的に活用するため、」を追記してはどうでしょうか。

3. 新たなリスクと対応策

観光需要の適正化により地域の魅力や価値が高まる
ことで、郊外地の開発圧力が高まる。そのことによる
植樹林の開発等、自然生態系への悪影響が懸念される。
対応策として、特別緑地保全地区制度を活用する。
一定の建築行為や宅地の造成等の土地の形質変更を制
限すること、現状凍結的に地区を保全する。また、
地区の指定によって優遇税制措置が適用される他、管
理協定制度を併用することによって土地所有者の負担
を軽減することができ、このことによって、豊かな
緑を将来に継承することができ、健全な生活環境や景
観を維持することが可能となる。以上